REIMEI

一般社団法人日本PVプランナー協会会報誌



黎明 Vol.43
2026 秋号

Contents

■2025年度 新入会企業報告

■地区会レポート
関東地区会／東北地区会
中部地区会／中国・四国地区会

■見学会レポート
近畿・北陸地区会主催：
富山県営農型太陽光発電見学会
理事会・合同会議主催：
北海道垂直太陽光発電見学会

■会員企業紹介
㈱バヤン・ハーン東京
㈱林電機商会
LEC㈱
共聴開発㈱

低圧蓄電池が拓く新たなエネルギービジネス

一般社団法人日本PVプランナー協会　専務理事　武中 進



平素より日本PVプランナー協会の活動にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。理事の武中でございます。

昨今、再生可能エネルギーの導入拡大と電力需給環境の変化にともない、蓄電池の果たす役割が一段と重要になっております。特に低圧系統用蓄電所は単なる余剰電力の貯蔵設備にとどまらず、充放電制御を通じた需給調整や系統安定化、さらにはアグリゲーションによる電力市場への参加など、新たなエネルギービジネスの可能性を秘めています。

先日の展示会においても、低圧蓄電池・系統用蓄電所に関する展示には非常に多くの来場者が集まり、業界関係者の関心の高まりを強く感じました。一方で、設備導入にあたっては、系統連系、保護協調、消防・安全対策、遠隔監視、長期的な運用・保守までを見据えた総合的な設計が求められます。

協会といたしましても、PVと蓄電池を一体的に捉え、制度・技術・施工・保守に関する情報共有を通じ、会員の皆様のさらなる事業発展に寄与してまいります。

今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

一般社団法人 日本 PVプランナー協会 理念

私たちは、太陽光発電のEPC・O&M事業者の団体として、2050年の脱炭素社会の実現に向け、太陽光発電の健全な市場発展に努めます。

その為には
1、太陽光発電の長期安定電源・主力電源化に貢献します。
1、事業者団体としての政策提言や意見の発信を行います。
1、PVプランナー、PVシステムインテグレーター、O&M技術者の育成を行います。
1、資格認定や技術研修会により、施工技術を確立し、会員施工ネットワークを構築します。
1、施工・保守点検技術と太陽光発電に関連する周辺技術の向上を図り、安全・安心な太陽光発電設備を提供します。
1、会員同士の交流を図り、お互いの知見を共有できる環境の向上を図ります。
1、Webサイト等を通じた正しい情報の発信に努めます。

これらの活動を通じて、次世代に繋がる持続可能で豊かな社会を作ることを目指してゆきます。

第14回 全国会員大会のおしらせ

日時：2026年11月20日（金）
14:00～
会場：シダックスカルチャーホール
（JR 渋谷駅より徒歩5分）
東京都渋谷区神南1-12-10　8階

今年も恒例の全国会員大会を東京・渋谷にて開催いたします。今年は３つの省庁による基調講演の他、新たに設立する委員会制度についてご説明いたします。

ご多用中とは存じますが、皆さまぜひともご出席くださいますようお願い申し上げます。

14:00　開会
14:55　基調講演
※3つの基調講演を予定しています。
16:40　委員会制度について発表
17:10　表彰式
18:15　情報交換会

事務局だより

通勤の途中、道端に咲いた萩の花を見かけました。まだ夏の名残が残る少し暑い朝でしたが、小さな赤紫色が風に揺れている姿を見た瞬間、季節が静かに次の段階へ進んでいっていることを感じました。劇的な変化があるわけでもないのに、こうしたささやかな気配が一番確かな季節の移ろい知らせてくれるのかもしれません。

このところ家を出る前に淹れる一杯のコーヒーが、気持ちを落ち着かせてくれます。慌ただしい朝でも、湯気の立ち上るカップを手にすると、ほんの短い時間であっても自分のペースが戻ってくるような気がしてホッとできる瞬間です。萩の花を見つけたときの小さな喜びと、このコーヒーの時間はどこか似ています。どちらも「小さな余白」を一日のはじまりに与えてくれるのかもしれません。

季節の変わり目は心も少し揺れやすくなる時期ですが、こうした日常の小さな習慣や、道端のささやかな風景に助けられているのだと改めて気づかされます。

（葭谷）

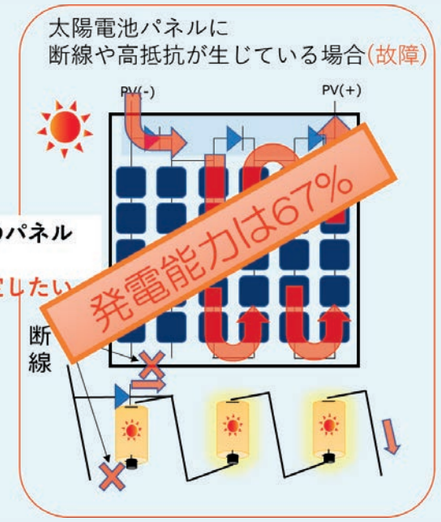


お問い合せは…

一般社団法人 日本 PV プランナー協会
〒101-0061
東京都千代田区神田三崎町3丁目2番13号
秋和ビル202号室
TEL：03-6256-9970／FAX：03-6256-9971
Web　https://pv-planner.or.jp
Mail　support@pv-planner.or.jp

制作・編集：㈱電設出版



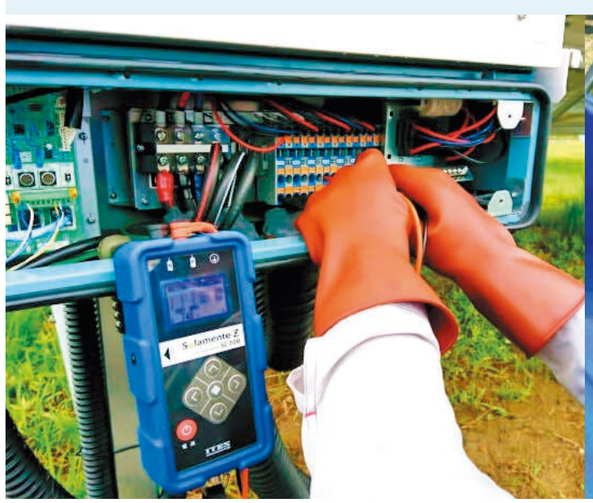


Solamente

太陽光パネルのメンテナンスツールは　ソラメンテ

お問い合わせ
東洋計測器株式会社
TEL. 03-3255-8035
FAX. 03-3255-8076
〒101-0021 東京都千代田区外神田1-3-12 計測器ランドビル
URL:https://www.keisokuki-land.co.jp/

株式会社 アイテス
〒520-2151　滋賀県大津市栗林町１番60号
製品開発　TEL.077-599-5040　FAX.077-544-7712
URL:https://www.solamente.biz/　e-mail:sales02@ites.co.jp





2025年度　新入会企業報告
(2025年9月1日～2026年8月31日)

JPPA

入会

エリア	会社名	事業内容
東北	アドウィー株式会社	太陽光発電事業、土木工事、基礎工事、とび解体、防犯、草刈り
関東	NOF メタルコーティングス株式会社	防錆塗装（主に自動車製造ライン）
関東	門倉テクノサポート株式会社	高圧受電設備の保守点検・保守管理業務
関東	株式会社長谷川電気工業所	総合設備業、エネルギーサービス業（再エネ設備工事・再エネシステム開発、他）
関東	CPOWER 株式会社	小型・中型風力発電機の輸入代理店、および販売・メンテナンス業務
関東	日本コントロールシステム株式会社 WEMOS ユニット	コンピュータシステム・制御システム開発、ソフトウエアの受託開発
関東	シェリオンジャパン株式会社	蓄電システム開発、発電所開発、蓄電池 O&M 事業
関東	株式会社 REP エージェント	自家消費太陽光発電、ソーラーカーポート、営農型太陽光、住宅用太陽光等提案
中部	株式会社エコソニック	エネルギー事業、総合建設業
近畿・北陸	Blue Ray 株式会社	省エネ工事、電気工事、O&M 事業、各種コンサルティング，無人航空機事業
近畿・北陸	UPS 株式会社 新エネルギー事業部	住宅用・産業省太陽光発電システムの企画・販売
中国・四国	株式会社 Landclean	太陽光発電所の景観管理、不動産、卸業（農薬・農業資材）
中国・四国	TAKE NEXT 株式会社	新エネルギー事業、太陽光保守メンテナンス事業、輸出入事業およびホスピタリティ
中国・四国	東洋ソーラー株式会社	住宅太陽光・蓄電地、各種産業用太陽光発電販売施工
中国・四国	株式会社クリエネ	一般電気工事、再生エネ発電所企画・運営、蓄電池販売・設置、太陽光発電売電事業
九州	大英ソーラー株式会社	太陽光発電事業、維持管理業務
賛助会員	Tensor Energy 株式会社	再エ開発、需給管理と市場取引、予実管理
賛助会員	株式会社能勢・豊能まちづくり	能勢町・豊能町と提携、再エネ電気の売買、公共施設へのオンサイト PPA 設置

復会

エリア	会社名	事業内容
関東	株式会社ビル技研	測量事業、太陽光発電架台施工等
近畿・北陸	有限会社ヤマダエナジィ	太陽光発電システム・遮熱塗装・蓄エネ、省エネ

会員企業・団体関係		
種別		企業数
正会員	協会員	145
	賛助会員	12
部会会員	発電事業オーナー倶楽部	66
	エネマネ推進企業	17
団体関係	協力団体	2
	協力組織	1

関東地区会
東京都開催（2026年7月10日）

参加者 36名

2026年7月10日（金）東京都千代田区内神田のTKPスター会議室で開催いたしました。

はじめに髙野エリアマネージャーの挨拶がありました。



髙野エリアマネージャー



Japan電力㈱
管氏

1部はJapan電力㈱の事業戦略室 室長 管 康輔氏から「太陽光発電＋蓄電池システム初期費用0円プラン」について以下の説明がありました。

・機器導入には補助金を使うことができる。
・FITは使用できないがJapan電力が購入。
・初期費用不要。
・売電収入は需要家。
・補償は10年。所有権はリース会社。

「契約期間は電力会社を変更することはできないが、市場価格に添った電気料金なので市場が安い時だとお得なプランになっている」という内容。

つづいて、新入会になった会員に会員証が授与されました。



新入会員　左から・CPOWER㈱・日本コントロールシステム㈱
・テンサーエナジー㈱・㈱REPエージェント



Sky Electric Japan㈱
藤井氏



㈱グッドフェローズ
山口氏

2部はSky Electric Japan㈱代表取締役 藤井青美氏から「スマートエネルギーXサイバーセキュリティ」の説明がありました。監視による事後検知のみでは防げない脅威に対し、UL2941規格に基づいたライフサイクル全体にわたる管理された設計レベルの事前防御により、サイバー脅威を根本から遮断することが大事であるとお話でした。

3部は㈱グッドフェローズ 山口正良氏から「タイナビ発電所が明かす低圧系統蓄電所マーケットの実態」についてお話がありました。投資家は低圧系統蓄電所に注目しています。需要も資金もあり、あとは「施工ネットワーク」と「情報」が揃えばマーケットは一気に動く、これがEPC各社への最大のビジネス機会です、という内容でした。

4部は（一社）再生可能エネルギー地域活性協会 事務局長 川崎雄介氏より説明会・事前周知についてチェックリストに基づくよくある課題についてのお話がありました。

最後に、関東地区優秀賞の発表があり、㈱サステナ執行取締役 龍野一仁氏が受賞いたしました。また、２年に一度のエリアマネージャー選挙が行われ、髙野エリアマネージャーが再選しました。



（一社）再生可能エネルギー地域活性協会
川崎氏



㈱サステナ
龍野氏

東北地区会
盛岡市開催（2026年8月7日）

参加者 26名

2026年8月7日（金）岩手県盛岡市岩手産業会館で東北地区会を開催いたしました。

佐々木エリアマネージャーの挨拶の後、新入会のアドウィー㈱代表取締役 加藤利之氏に会員証の授与がありました。次に地区会優秀賞の㈱グッドワンリフォーム プレイングマネージャー 佐々木輝明氏に賞状を授与いたしました。



アドウィー㈱
加藤氏



㈱グッドワンリフォーム
佐々木氏

1部は㈱シールエンジニアリング取締役 菊池潤氏より「低圧発電所FIP転＋蓄電池（アグリゲーターによる展開）について」という内容で、既存の低圧発電所をFIPに転換し蓄電池を付けてアグリーゲーターと契約する方式（需給調整市場活用）の説明がありました。



㈱シールエンジニアリング
菊地氏

2部はTensor Energy㈱ 古賀康吉氏より「低圧系統蓄電池の市場性と課題について」。アグリゲーターの視点から解説をしていただきました。



Tensor Energy㈱
古賀氏





二本松営農ソーラー㈱
近藤氏

3部は二本松営農ソーラー㈱代表取締役 近藤恵氏より「垂直型太陽光発電設置事例～営農型～牧場等」について、発電状況や基礎課題や配線関係など運用から設置事例を解説していただきました。

4部は澤井理事と佐々木エリアマネージャーとの進行で、前回行われた東北地区会セミナー（東北地域における営農型太陽光発電事業の実装と展望）のセッションを踏まえ、意見交換を行いました。参加者の㈱スマートアース鈴木氏からは農業運営について詳しく事例発表もいただきました。



澤井理事



㈱スマートアース
鈴木氏

最後に２年に一度のエリアマネージャー選挙が行われ、佐々木エリアマネージャーが再選しました。



佐々木エリアマネージャー

中部地区会
名古屋市開催（2026年8月21日）

参加者 20名

開会挨拶後に城所理事より新入会の㈱エコソニック後藤氏に会員証の授与を行いました。

また、恩田エリアマネージャーに選出していただいた中部地区会表彰の発表があり、㈲吉村設備工業 吉村氏が受賞し、城所理事より表彰状の授与を行いました。



㈱エコソニック後藤氏と城所理事



㈲吉村設備工業吉村氏と城所理事

1部は、福岡市よりZOOM出演にて㈱シルファインジャパン 代表取締役 米津氏よりフレキシブル太陽電池（シートパネル）について商品説明と品質性能（各種性能試験報告）や実際の施工実例のご説明を行っていただきました。



㈱シルファインジャパン 米津氏（ZOOM出演）

2部は自然電力いなべ㈱代表取締役 高橋氏から三重県いなべ市（自治体）と新電力（民間）による自治体の屋根上設置による太陽光自家消費発電設置の推進事例や苦労話についてご説明いただきました。



自然電力いなべ㈱ 高橋氏

3部は㈱エコソニック後藤氏のご紹介で中電クラビス㈱白木氏をお招きし、多発する太陽光発電所のケーブル盗難対策として発電所周辺の電柱の看板設置の効果について説明していただきました。



中電クラビス㈱ 白木氏

4部は中部エリア外から参加された会員のご紹介に続き、参加者による意見交換の時間となりました。事務局からはJC-STAR制度説明や令和9年度概算要求（民間活用）について説明を行いました。



意見交換





最後に2年に一度のエリアマネージャー任期改選選挙を行い㈲吉村設備工業 吉村氏が信任されました。8年間にわたり中部エリアマネージャーをされた恩田氏は今回をもって退任されました。長い間中部地区会を牽引していただき、誠にありがとうございました。

恩田氏は急な所要で参加が叶いませんでしたが、メッセージをいただき事務局が代読いたしました。



吉村エリアマネージャー

中国・四国地区会
福山市開催（2026年9月11日）

参加者 31名

椋木エリアマネージャーによる開会の挨拶に続き、新入会員の東洋ソーラー㈱様、㈱クリエネ様、TAKE NEXT㈱様に会員証授与を行いました。

続いて地区会表彰に㈱SAWADA 權藤氏が選出され、表彰状を授与いたしました。



東洋ソーラー㈱様



㈱クリエネ様

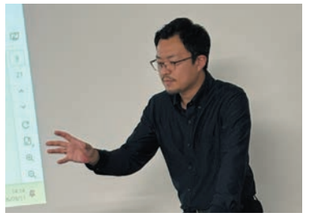


TAKE NEXT㈱様



㈱SAWADA 權藤氏（左）と椋木エリアマネージャー

1部はエナジー・ソリューションズの小松氏から、JC-STARの最新情と低圧系統蓄電におけるEMSについてご説明がありました。



エナジー・ソリューションズ㈱ 小松氏



東洋ソーラー㈱ 藤原氏



TAKE NEXT㈱ 松岡氏

2部は会員企業の東洋ソーラー㈱様の事業概要と今後の展開についてお話しいただきました。

3部は同じく会員企業のTAKE NEXT㈱様の事業概要と今後の活動についてお話いただきました。

4部は参加者からの事前アンケートより、くじ引き形式にてお困りごとについて参加者全員で対策のご意見をいただきました。合計で6件ほど皆様がご自身のお困りごととして熱く意見交換ができました。また情報交換会においても、活発な意見交換がありました。



椋木エリアマネージャー意見交換

5部は事務局からJC-STARや令和9年度概算要求（補助金）について情報提供いたしました。

最後に2年に一度の任期改選エリアマネージャー選挙を行い、松島電気㈱松島氏が信任されました。



松島電気㈱ 松島氏



集合写真

近畿・北陸地区会主催

富山県営農型太陽光発電見学会



2026年10月9日、近畿・北陸地区会主催による氷見市と富山市の営農型太陽光発電所2か所の見学会を開催しました。どちらも富山県における営農型太陽光発電の先行事例として注目されています。

最初に向かったのは氷見市にある富山県内初の事例となる営農型太陽光発電、加納営農型発電所です。見学に先立ち、発電所脇の研修センターにて、氷見ふるさとエネルギー㈱の大石克哉常務取締役より、事業概要や地域での再エネ活用についてお話しがありました。能登半島地震による液状化の影響で計画規模を見直しながらも、営農組合や地権者との協議を重ね、2026年3月に1MWの発電所として完成した経緯もうかがいました。小学校の跡地に建設された加納営農型発電所は稲刈りを終えた後で、パネル下には作物は植えられていない状態でした。追尾式架台は季節や作業に応じて角度を変更することが可能です。栽培期間中の日射量を確保する仕組みで、大型農機が通行できる高さや強風時の水平固定など、安全面への配慮も随所にみられました。

かつて子どもたちが学んだ場所が再エネと農業を両立する新たな拠点として再生し、地域の未来を支えようとしていることに感慨深いものがありました。

次に向かったのは、2026年7月に運転を開始した富山市内初（県内では2番目）の営農型太陽光発電所「北陸電力呉羽農場エネルギーパーク」です。北陸電力の西本慶民課長、伊原俊亮さんより事業概要をうかがいながら施設を見学しました。試験農場跡地に2種類のブルーベリーを栽培し、その上部に太陽光設備を設置することで、営農と再エネ創出を両立する取組みを行っています。富山市ではブルーベリー栽培の事例があまりないということで、民間企業の協力を仰ぎながらの栽培だそうです。発電した電力はオフサイトPPAにより富士製薬工業へ全量供給されています。パネルの出力容量は105kWと大きくはないものの2028年の収穫を目指して稼働しています。将来的には六次産業化を見据えているそうで、北陸電力がゼロから立ち上げた小さな発電所が地域課題と脱炭素化を同時に進める新たなモデルとなるべく期待が高まります。

2つの発電所を見学して、営農型太陽光発電は、再生エネルギーと農業を両立することで、地域を活性化させるエネルギーをも創出していく可能性を担っているのだなとあらためて感じました。これからを担う子どもたちの未来が少しでも明るくなるよう、私たち協会はさらなる太陽光発電の発展に貢献していければ幸いです。

加納営農型発電所









北陸電力







理事会・合同会議主催

北海道垂直太陽光発電見学会

2026年6月27日、当協会の理事会と合同会議メンバーにて、北海道江別市にある酪農学園大学にて垂直式太陽光発電設備を見学しました。

北海道自然電力㈱堂屋敷 誠様、郡川駿佑様に現地のご案内をしていただきました。

酪農学園大学と自然電力㈱（福岡市中央区）は、垂直式太陽光発電を牧草地に設置することで、牧草地の生育に必要な日射量を確保しながら、太陽光発電を行う実証研究を共同で行っています。大学と発電事業者がオンサイトPPA契約を結ぶことで実現し、施設は2023年12月から運転を開始しており、牧草地の有効利用と再生可能エネルギーの普及を同時に促進することを目指しています。また、太陽光発電は化石燃料に依存しない再生可能エネルギーであることから、温室効果ガスを排出しないエネルギーの創出を通じて、持続可能な農業・酪農の実現に向けて未来を見据えています。

日本は2050年カーボンニュートラルを目標としていますが、まだその道は険しい状況です。その中で、このような垂直型太陽光発電の実証研究は酪農・農業だけでなく、エネルギー創出においても期待が高まっています。

実証研究の特長

・牧草地に設置可能
・雪がパネルに積もりにくい
・日射・反射光で両面発電可能

牧草地で稼働する重機が大型であることから、パネル間隔を8～10メートルで設置。

垂直であることから両面のパネルにより、日の出から夕方までの発電が可能。

夏は営農を継続しながらエネルギーも創出することで、1つの畑から2つの収穫を期待できる。

地面からの反射光により冬季期間の発電量も期待できる。年間を通しての有効利用が可能。

この実験場で実施する研究

育成した牧草および発電した電力を大学構内で活用するとともに、以下の研究テーマについて活用

・「垂直式太陽光パネル設置状況下における農作業効率の変化に関する研究」
　酪農学園大学 農業経営学研究室 吉岡徹教授）
・「垂直式太陽光パネルの設置がチモシー優占草地の生産量に及ぼす影響」
　酪農学園大学 家畜飼料学研究室 土井和也講師）
・「垂直式両面受光型太陽光パネルの北海道江別地区における牧草圃場での発電評価」
　自然電力株式会社

プロジェクト背景や実験圃場の様子が動画で紹介されています。
インタビュー動画：
https://youtu.be/2zNXT_zH1fg
農耕機による収穫の様子：
https://youtu.be/7d24SLOydww

見学会の様子













太陽光発電・系統用蓄電池設備のEPCとデータセンター開発への展開

㈱バヤン・ハーン東京（関東エリア会員）

当社は2009年に創業し、再生可能エネルギー事業を中心に日本各地で実績を重ねてまいりました。資材調達から設計・施工までまかなうEPCを軸に、施工後のメンテナンスも含め自社で一貫して担う「ワンストップ対応」が最大の強みです。

〈現在の主力事業と強み〉

・太陽光・蓄電池のEPC：工場や商業施設の屋根上を中心に、低圧から特高、系統用蓄電池設備に至るまで幅広く対応しております。

・土地開発からのフルサポート：「土地はあるが設置ができるか分からない」といったご相談にも応じ、用地交渉から設計、機器調達、電力申請、施工、保守までトータルでサポートいたします。

部材調達～メンテまでを自社で完結させることで、コスト削減や工期短縮、トラブル時の迅速な対応を実現。昨今の電気代高騰や災害時のBCP（事業継続計画）対策として工場や商業施設からの引き合いも高まっており、他社で断られた遊休地のご相談も含め、信頼性の高さからご依頼が飛躍的に増加しています。

〈今後の展望・新事業〉

蓄電池事業のさらなる強化に加え、新たな取組みとしてデータセンターの用地購入から開発をしております。国内で再生可能エネルギー設備を計画的に施工してきた実績や土地開発・電力申請・施工のノウハウを最大限に活かし、今後さらに需要が高まるデータセンターの建設・開発へと事業領域を広げていく計画です。





・会社概要・
社　名：㈱バヤン・ハーン東京
所在地：東京都港区新橋5-33-8-5階
代表者：小泉力一郎
創　業：2009年
主な事業：太陽光発電事業（EPC、PPA、O＆M、リパワリング事業 等）蓄電池事業（EPC、PPA、O＆M）電気工事業、貿易業、電力申請、土地開発

電気設備工事を基盤に再生可能エネルギー事業を展開

㈱林電機商会（中部エリア会員）

当社は、1928年の創業以来、岐阜県多治見市を拠点に、電気設備工事を中心に事業を展開してまいりました。

現在は、公共施設をはじめ、工場や事業所、医療施設などの電気設備工事・空調設備工事を幅広く手掛けています。長年の施工実績の中でつちかってきた技術と経験を基盤に、安全・品質を第一とした施工に取組んでいます。

また、近年では再生可能エネルギー分野にも注力し、産業用太陽光発電設備の設計・施工から、設置後の点検・保守まで一貫して対応しています。

特に、電気料金の上昇や脱炭素化を背景に需要が高まる自家消費型太陽光発電について、お客様の電力使用状況や設備環境に応じた提案を行っています。

さらに、Tesla認定販売施工会社として、家庭用蓄電池PowerwallやEV充電設備Wall Connectorの販売・施工にも対応。既存の電気設備工事でつちかった技術を生かしながら、太陽光発電・蓄電池・EV充電設備など、エネルギーを取り巻く新たなニーズへの対応を進めています。

2028年には創業100周年を迎えます。技術と信頼を次世代へ継承するとともに、時代の変化に対応した技術・サービスを積極的に取入れ、電気設備とエネルギーの両面から、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



キュービクル改造の様子



Tesla Powerwall 3

・会社概要・
社　名：㈱林電機商会
所在地：岐阜県多治見市京町1-134
代表者：林 浩司
創　業：1928年11月
主な事業：公共・産業用電気設備・空調設備・太陽光発電設備・蓄電池システムの設計施工

確かな施工力で太陽光発電の普及と脱炭素社会に貢献

LEC㈱（関東エリア会員）

弊社は、太陽光発電設備の現地調査から設計、各種申請、施工、保守管理まで、一貫した体制で取組んでいます。工場・倉庫・事業所などの産業用設備を中心とし、屋根や敷地の状況、電力使用量、将来の運用方法を踏まえた最適なシステムをご提案しています。

また、施工においては「誠実・安全・品質」を大切にし、一つひとつの工事に責任を持って取組んでおります。お客様のご要望に真摯に向き合い、迅速な対応、分かりやすい説明、確かな施工を徹底することが、信頼につながるものと考えております。

特に大規模な事業用太陽光発電設備では、施設を稼働させながらの施工や限られた工期内での工程管理、既存受変電設備との調整など、現場ごとに異なる対応が求められます。弊社では、関係各所との連携を図りながら、確実な工事を進めています。また、施工後の発電性能や維持管理までを見据え、ケーブルの敷設方法、機器の配置、保守点検のしやすさにも配慮しています。

電気設備を取巻く環境は、再生可能エネルギーの普及や省エネ化など日々大きく変化しています。今後も施工技術と提案力を磨き、再生可能エネルギーの普及と脱炭素社会の実現に貢献してまいります。





・会社概要・
社　名：LEC㈱
所在地：東京都台東区清川2-12-7　清川玉姫ビル
代表者：川村聡誌
創　業：2018年
主な事業：エネルギー関連工事（太陽光発電設備設置工事、蓄電池工事、保守メンテナンス）、電気設備工事（強電、弱電）、改修工事

通信と電気の技術を通じて地域社会へ貢献いたします

共聴開発㈱（中国・四国エリア会員）

弊社は1977年に設立し、来年2027年に創立50周年を迎えます。

創業以来、地域の情報通信インフラを支える技術企業として歩んできました。ケーブルテレビ施設の調査・設計・施工・保守・管理をはじめ、徳島県が発注する公共工事にも積極的に参入し、電気工事・電気通信工事の両分野において、地域の公共施設や社会インフラを支える役割を担っております。

弊社の再生可能エネルギー事業は、2012年のFIT制度導入とともにスタートし、住宅用から産業用太陽光発電設備まで幅広く事業を展開し、製品知識や発電所の設計ノウハウを蓄積してきました。

近年では、自家消費型・非FITといった産業用屋根上設備やリパワリング工事、パネル点検等のメンテナンス事業に力を入れており、ニーズに応じて提案・設計・施工まで一貫して対応しております。

また系統用蓄電池事業では自社が保有する蓄電所が今年、需給調整市場へ参入します。

長年つちかってきた専門技術と経験、そして地域とのつながりを大切にし、一つひとつの仕事に責任を持って取組むことが私たちの強みです。これからも、通信と電気の技術を通じて、地域の暮らしと社会を支え、より快適で安心できる未来のインフラづくりに貢献してまいります。





・会社概要・
社　名：共聴開発㈱
所在地：徳島県徳島市西須賀町下中須63-9
代表者：伊井政志
創　業：1977年
主な事業：ケーブルテレビ 設計・施工・メンテナンス／電気工事／電気通信工事／太陽光発電設備工事・保守管理メンテナンス／系統用蓄電池事業